

独立行政法人 日本芸術文化振興会
第11回 契約監視委員会 議事要旨

開催年月日	平成26年8月29日(金)10:30～ 第1会議室
委員名簿 (敬称略)	伊田 若江(弁護士) 小林 伸行(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長代理 笹川 隆司(独立行政法人日本芸術文化振興会監事)※委員長 徳丸 吉彦(聖徳大学教授) 根木 昭(昭和音楽大学教授)
議事次第	1.平成24年度・平成25年度連続一者応札・応募等事案フォローアップについて 2.平成25年度契約に関する点検・見直しについて 3.その他
審議点検対象	平成25年度契約(契約額100万円以上)全件
総括	(1)審議方法概要と結果 契約方式、落札率、予定価格の算出方法に重点を置いて、審議点検対象から選定した6件について、所管課の説明を受け、点検審議を行った。 一般競争においては、高い落札率の要因がいずれの案件も主に一者応札に拠るものであることから、一者応札・応募改善の取組の中での対応を望む。また、予定価格作成方法について、改めて関係者が再認識されることを望む。随意契約においては、いずれの案件についても契約方式の妥当性を確認した。今後の調達に向けて、事案ごとに調達内容を検討し、適正な契約方式を選定すべく努めるよう期待する。